

研究の実施にかかるおしらせ

研究名：

黄砂及び大気汚染物質が身体へ及ぼす影響の検討

研究実施期間： 2018年12月25日～2020年3月31日

① 研究の目的(情報の利用目的及び利用方法)

大気汚染物質は肺や気管支に酸化ストレスや炎症を引き起こし、PM2.5やオゾンの短期曝露および長期曝露により全死亡のリスクが上昇することや喘息による受診が増加すること、黄砂曝露により喘息の入院が増加することが報告されております。循環器疾患においても二酸化窒素、PM2.5、PM10により急性心筋梗塞の入院が増加すること、黄砂曝露の1日後に急性心筋梗塞の発症が増加することが報告されております。しかしながら黄砂曝露がどのようなメカニズムでこれらの健康被害を引き起こすのかは明らかではありません。

そこで、黄砂曝露が人体に及ぼす生理学的な影響を検討するために健康診断を受診された方のデータを用いてバイタルサイン、血液検査、生理機能検査の変化を調査致します。

本研究は、診療によって得られたデータを使用するため研究費は生じません。本研究の利害関係の公正性については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学利益相反審査委員会」において適切に審査・管理をしています。今後も、当該研究経過を研究機関の長へ報告すること等により、利害関係の公正性を保ちます。

② 対象：20歳以上で健康診断、人間ドック、生活習慣病予防健診を受診された方。

対象調査期間：2006年1月1日～2018年10月31日

③ 研究実施施設及び責任者（利用する者の範囲/情報の管理について責任を有する者の氏名）

研究実施機関の名称：

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻薬剤疫学分野

研究責任者：川上 浩司

研究担当者・情報管理責任者：石井 正将

武田病院健診センター

研究分担者：榊田 出

④ 研究への利用を停止する場合

患者様においては、得られた情報の研究への利用をいつでも停止することができます。研究に不参加となった場合も、患者様に不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。

⑤ 連絡先

研究利用の停止、そのほか質問したいことなどがありましたら、下記の担当者までご連絡ください。

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 薬剤疫学分野

連絡先：〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町 Tel：075-753-9469

研究担当者：石井正将

京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛

(Tel) 075-753-9301 (E-mail) kikaku06@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp